

## 平塚市の不登校児童生徒への支援

不登校は多様な要因・背景により、どの児童生徒にも起こり得ることとして捉え、次のような個々の状況に応じた必要な支援を行います。また、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指します。

### 先生や学校関係者に相談したい

- ・教育相談・三者面談  
学校で担任の先生、スクールカウンセラー等と定期的に面談を行います。
- ・平塚市子ども相談フォーム  
タブレット（Chromebook）を活用して、相談したい学校の先生等と児童生徒をつなげます。

### 専門家に相談したい

- ・平塚市子ども教育相談センター  
【相談専用電話 36-6013】  
児童生徒と、その保護者・教員等を対象に相談を受け、カウンセリング、遊戯療法、助言指導、他機関への紹介等を行います。
- ・スクールカウンセラー オンライン面談  
児童生徒へのカウンセリング及び支援、教職員及び保護者に対する助言、援助をします。

### 学習の保障をしてほしい

- ・多様な学び方  
従来のプリントやドリル等を使った学校外での学習に加え、オンライン学習ドリルや、授業支援サービスなどを活用して自分に合った方法で学習できるようにします。（対応できない教科もあります。）
- ・オンライン授業  
タブレットを活用し授業の配信を行います。（対応できない時間や教科もあります。）
- ・学習評価  
学校外で学習した成果を学校に提出することで評価につなげます。（オンライン、放課後登校や家庭訪問等で提出します。）  
※成績評価を行うにあたっては、国が定める要件のもとで、欠席中に行った学習の成果を考慮することができます。

### 安心して過ごせる居場所が知りたい

- 学校内の居場所  
自分のクラスに入りづらい時や、少し気持ちを落ち着かせてリラックスしたい時等は、学校に相談してください。
- 学校外の居場所
  - ・平塚市教育支援室「くすのき」  
社会的自立や学校復帰に向かうよう、小集団による活動と相談員とのカウンセリングを通して、相談・支援をします。（子ども教育相談センター内にあります）
  - ・フリースクール等  
日中の時間帯に不登校児童生徒が学習をしたり、興味のあることに取り組んだりできる場所です。  
※一定の要件を満たせば、在籍校での出席認定や成績評価の対象になります。詳しくは学校にご相談ください。  
※神奈川県学校・フリースクール連携協議会と連携しているフリースクールについては、神奈川県教育委員会ホームページをご覧ください。

## 学校の取組

各学校では各段階に応じて次のような取組みを進めています。

### ①未然防止

児童生徒一人ひとりに活躍の場や役割を用意し、「分かる授業」の工夫、「居場所づくり」や豊かな人間関係づくりを後押しする「絆づくり」を図ります。

### ③初期対応

欠席が多くなってきた児童生徒の状況を担任だけで抱え込まず、教育相談コーディネーターをはじめ、学校全体で把握し、「チーム学校」で対応していきます。

### ②早期発見

電話連絡や手紙の投函、家庭訪問や、「子どもサポートドック※」等を実施し、児童生徒の様子を把握していきます。  
※…困難を抱える子どもを確実に把握し、適切な支援につなげていく仕組み

### ④継続的な支援

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等と連携して、組織的・計画的な支援を行います。保護者を含めて孤立させないための支援体制づくりとして、学校外の支援施設との連携・情報共有を積極的に行います。

### 【問い合わせ先】

子ども教育相談センター Tel 36-6012

（学校以外の場所での相談、カウンセリング、平塚市教育支援室「くすのき」のこと等）

教育指導課 Tel 35-8120（学習保障や出席、進路に関すること等）